

2022年度助成と2023年度事業計画の決定等について（お知らせ）

公益財団法人 中国電力技術研究財団（理事長 清水 希茂）は、中国地域における電気エネルギーの供給・利用およびこれに関連する基礎的な技術の試験研究等に対して助成を行っております。

本日の理事会において、「2022年度助成」と「2023年度事業計画」を決定いたしましたのでお知らせします。

なお、1991年の財団設立以来（32年間）の助成総計は、1,643件・約12億7千万円となりました。

今後も財団事業を通じて、豊かな地域社会の実現と産業の進展に貢献できるよう努力してまいります。

1. 2022年度助成および2023年度助成計画

2022年度は、中国地域の大学・高等専門学校の研究者に対し、試験研究16件および国際交流活動・研究発表会10件、合計で26件、総額2,193.7万円の助成を決定しました。

2023年度は、助成総額を2,380万円として募集します。

助成項目	2022年度決定		2023年度計画（注4）	
	件数	金額	件数	金額
1. 試験研究（注1）				
（1）試験研究A（一般）	14件	1,950万円	14件程度	2,050万円
（2）試験研究B（主に高専）	2件	98.7万円	3件程度	130万円
2. 国際交流活動（注2）				
（1）国際会議等の開催	2件	30万円	15件程度	200万円
（2）海外渡航	1件	15万円		
3. 研究発表会等の開催（注2）	7件	100万円		
合 計	26件	2,193.7万円	32件程度	2,380万円
（注3）	[31件]	[2,190万円]		

（注1）今回助成を決定した「1. 試験研究」は、2023～2024年度に研究を実施するものが対象。

（注2）「2. 国際交流活動」、「3. 研究発表会等」への助成は年2回募集しており、上期において「海外渡航」1件・15万円、「研究発表会等の開催」4件・45万円の助成を2022.7.6 理事会にて決定済み。

（注3）[]内は2022年度の計画値（予算）

（注4）2023年度の助成募集の詳細については、4月初旬に財団ホームページ等でお知らせします。

2. 優秀な研究に対する表彰

2021年度に終了した研究の中から、特に優れた以下の2名(研究)を選定しました。

2023年度の5月頃に表彰を行う予定です。

研究奨励賞	島根大学 大学院自然科学研究科 飯田 拡基 准教授 研究題目「電力で駆動する有機分子触媒を用いたクリーンな酸素酸化反応の開発」
	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 今任 景一 准教授 研究題目「骨格筋組織を模倣した電気化学ゲルアクチュエーターの開発」

【添付資料】 別紙1 2022年度 助成一覧表
別紙2 2023年度 助成募集の概要
別紙3 公益財団法人 中国電力技術研究財団の概要

【報道資料の問い合わせ先】

公益財団法人 中国電力技術研究財団 事務局長 吉光昭典 082-546-2581

以 上

2022年度 助成一覧表

1. 試験研究への助成

(1) 試験研究 - A

助成対象: 大学、高等専門学校等一般の研究者・14名

(氏名・50 音順(敬称略))

研 究 題 目	氏 名	所属・役職	助成金額
電力駆動型有機分子触媒を用いる グリーンかつ高選択的な バイヤー・ビリガー酸化の開発	飯田 拡基	島根大学 総合理工学部 物質化学科 准教授 博士 (工学)	170 万円
SD-SM 伝送を用いた高効率マルチアンテナ 通信の創出	井田 悠太	山口大学 大学院創成科学研究科 システム・デザイン工学専攻 准教授 博士(情報工学)	125 万円
フッ素置換スルホンアミド型アニオンの 有機合成への利用	川本 拓治	山口大学 大学院創成科学研究科 工学系学域応用化学分野 准教授 博士 (理学)	150 万円
ベントナイト系材料の膨潤・亀裂侵入特性と 透水性に及ぼす塩分濃度履歴の影響の定量的 解明	河野 勝宣	鳥取大学 学術研究院 工学系部門 准教授 博士 (工学)	160 万円
環境調和型強誘電体薄膜と電極を用いた 自律型マルチ・エナジーハーベスターの開発	近藤 真矢	岡山大学 学術研究院 自然科学学域 応用化学専攻 助教 博士 (工学)	130 万円
液体炭化水素プラズマ分解による水素製造法 の効率向上に関する研究	白石 僚也	山口大学 大学院創成科学研究科 機械工学系専攻 准教授 博士(工学)	190 万円
省エネルギー型 μ MRI への応用を目指した 高性能超電導接合の開発	田中 博美	米子工業高等専門学校 総合工学科 准教授 博士(工学)	130 万円
水中放電プラズマを応用した産業排水浄化 装置の開発	寺東 宏明	岡山大学 環境管理センター 教授 博士 (理学)	125 万円
次世代 ICT のための超低消費電力デジタル フィルタの開発	中本 昌由	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 助教 博士 (工学)	125 万円
カーボンニュートラルの実現化に向けた 高分子複合材料の界面挙動の可視化と 接着機構の解明	中谷 都志美	広島大学 デジタルものづくり 教育研究センター 特任助教 博士 (工学)	160 万円
地域の未利用資源を活用したバイオマス発電 システムの構築およびその効果の検証	野本 直樹	宇部工業高等専門学校 物質工学科 准教授 博士 (工学)	100 万円
石炭灰造粒物 (Hi ビーズ) を用いた 広島湾沿岸域でのカキ養殖場を対象とした 効果的な小規模施工技術の開発	日比野 忠史	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 社会基盤環境工学プログラム 准教授 博士 (工学)	130 万円
デジタルホログラフィ (DH) 干渉法と ロックイン発熱解析 (LIT) による AI を 活用した準実時間での電子・電気機器 ヘルスモニタリングシステムの開発	横田 正幸	島根大学 総合理工学部 機械・電気電子工学科 教授 博士 (工学)	125 万円

(試験研究 - Aのつづき)

研 究 題 目	氏 名	所属・役職	助成金額
UAV と深層学習を用いた河道の維持・管理手法の高度化	吉田 圭介	岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 准教授 博士(工学)	130 万円
試験研究－A 計 (14 名)			1,950 万円

(2) 試験研究 - B

助成対象: 高等専門学校 of 研究者・2名

(氏名・50 音順(敬称略))

研 究 題 目	氏 名	所属・役職	助成金額
複数の圧電ファンが作り出す誘起流の風向コントロールに関する実験的研究	細谷 和範	津山工業高等専門学校 総合理工学科 機械システム系 教授 博士(学術)	50 万円
VaRTM 法で成形された CFRP のせん断性能評価	三枝 玄希	呉工業高等専門学校 建築学分野 助教 博士(工学)	48.7 万円
試験研究－B 計 (2 名)			98.7 万円

2. 国際交流活動への助成

(1) 国際会議等の開催 (2 件 30 万円)

(氏名・50 音順(敬称略))

開 催 題 目	開催場所	氏 名	所属・役職	助成金額 (万円)
第 11 回分裂酵母国際学会	広島市 (JMS アステール プラザ)	登田 隆	広島大学 大学院統合生命科学研究科 特任教授 博士(理学)	15
19th International Conference on Chiroptical Spectroscopy (第 19 回キラル分光国際会議)	広島市 (JMS アステール プラザ)	松尾 光一	広島大学 放射光科学研究センター 准教授 博士(理学)	15

(2) 海外渡航 (1 件 15 万円)

渡 航 目 的	渡航先	氏 名	所属・役職	助成金額 (万円)
(※) IEEE PES/IAS PowerAfrica 2022	ルワンダ (キガリ)	Mumbere Samuel Kihembo	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 電気システム制御プログラム 博士後期課程	15

(※) は上期(2022.7.6 第 2 回理事会)決定のもの

3. 研究発表会等開催への助成（7件 100万円）

（氏名・50音順(敬称略)）

開催題目	開催場所	氏名	所属・役職	助成金額 (万円)
(※) 第42回数理の翼夏季セミナー	東広島市 (広島大学)	泉 俊輔	広島大学 大学院統合生命科学研究科 統合生命科学専攻 教授 博士（理学）	10
(※) 第31回計測自動制御学会 中国支部学術講演会	広島市 (広島工業大 学)	大谷 幸三	広島工業大学 情報学部 情報工学科 教授 博士（工学）	10
土木学会令和5年度全国大会	東広島市 (広島大学) ほか	河合 研至	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻 教授 博士（工学）	20
(※) 2022年日本化学会 中国四国支部大会	東広島市 (広島大学)	塩野 毅	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 博士（工学）	15
第33回基礎有機化学討論会	岡山市 (岡山コンベンション センター)	前田 千尋	岡山大学 学術研究院自然科学学域 助教 博士（理学）	20
2023年度砥粒加工学会学術講演会 (ABTEC2023)	米子市 (米子コンベンション センター)	山口 顕司	米子工業高等専門学校 総合工学科 機械システム部門 教授 博士（工学）	15
(※) 2022年電気学会 電子・情報・ システム部門大会	東広島市 (広島大学)	山本 透	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻 教授 博士（工学）	10

(※) は上期(2022.7.6第2回理事会)決定のもの

2023年度 助成募集の概要

中国地域の研究者を対象とした電気エネルギー関連技術に関する試験研究助成、研究発表するための海外渡航費用の助成、ならびに中国地域で開催される国際会議、研究発表会等の開催費用を助成します。

助 成 項 目		件数	金額	募 集 期 間
試験研究-A	(a) 一般の研究者を対象 (b) 1 件当たり最高助成額 200万円、研究期間 1 年 または 2 年	14件 程度	2,050万円	2023年 8 月 1 日～ 2023年10月31日
試験研究-B	(a) 主として高等専門学校の 研究者を対象 (b) 1 件当たり最高助成額 50万円、研究期間 1 年	3 件 程度	130万円	
国際交流活動	国際会議等開催	15件 程度	200万円	○第 1 回目募集 2023年 4 月 20 日～ 2023年 6 月 10 日 (2023年 8 月～2024年 7 月 に実施するもの) ○第 2 回目募集 2023年10月1日～ 2023年12月20 日 (2024年 4 月～2025年 3 月 に実施するもの)
	海外渡航 (大学院博士後期課程の方も 対象)			
研究発表会等開催				
合 計		32件 程度	2,380万円	—

・詳細については、4 月初旬に財団ホームページ等でお知らせします。

公益財団法人 中国電力技術研究財団の概要

1. 目的

主として中国地域における電気エネルギーの供給、利用及びこれに関連する基礎的な技術（以下「電気エネルギー関連技術」という。）に関する試験研究に対する助成及び国際交流の促進に関する事業を行うことにより、電気エネルギー関連技術の健全な発展を図り、豊かな地域社会の実現と我が国産業の進展に寄与することを目的としています。

2. 設立

1991年4月 財団法人設立

2010年7月 公益財団法人へ移行

3. 基本財産

20億円

4. 主な事業内容

(1) 電気エネルギー関連技術に関する助成事業

- (a) 試験研究助成
- (b) 国際会議等開催助成
- (c) 海外渡航助成
- (d) 研究発表会等開催助成
- (e) 産業振興に関する調査・研究助成

(2) 電気エネルギー関連技術に関するシンポジウム・講演会等の開催

(3) 前号各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

5. 助成の募集方法・決定方法

募集方法は、公募制です。

本財団の選考委員会の審査を経て、理事会において決定いたします。

以 上